

「三浦半島を自転車で半周」

2023.6月 しまゆぐ 増田

0.はじめに

今日は三浦半島を紹介します。自転車で回するには丁度よい大きさです。地名は昔からある御浦から、直近では鎌倉幕府時代の三浦一族に由来します。三浦一族の歴史を尋ねるのは後日として、今日はサイクリングで幾つかの名所を巡っていきましょう。

地図を見ると4つの部分からなっています。



図1 三浦半島地形図

1.相模湾に面した南側海岸線

遠くに富士山、江ノ島を望む風光明媚な景色です。夕日が最高です。葉山御用邸や大正天皇の屋敷跡もあります。

2.城ヶ島から観音崎の金田湾

三浦半島を靴の形とみれば靴底にあたる場所です。東京湾入口として幾つかの灯台があります。

3.東京湾に面した横須賀の街

JRと京急があり、横須賀の中心街、自衛隊や米軍基地があります。付け根あたりの追浜、金沢八景、金沢文庫は工業地帯ではあるが、埋め立てたレジャー施設が沢山あります。

4.半島の真ん中は丘陵地帯

高い山はないけれど、自転車では坂道に苦しめられる丘があり、その中を広い国道が走っている。三浦半島の真ん中の丘陵地帯は畑が広がっています。

では、アラカルト的に名所を案内します。

01)長者ヶ崎

逗子の海岸を通る国道134号線を南下する。途中葉山御用邸の前を通り過ぎる。ここはいつも警官が一人見張っている。御用邸のすぐ前に葉山警察署がある。ここらは犯罪も少ないだろう。いつも暇そうにしているので自転車で通り過ぎるときに「こんにちは」と大声で覚醒してあげる。御用邸をすぎるとちょっとした坂道があり、これを超えるとそこに長者ヶ崎がある。夏には海水浴になる市民の憩いの場所である。富士山、江ノ島、青い相模湾がみえる。相模湾に沈む夕日がとてもきれいです。



図2 長者ヶ崎からの富士山

02)二子山

二子山に行く途中に比較的大きな公園がある。公園に行くまでに長い坂があるので毎回自転車を押して登る。何時か激坂走破を試してみたい。

この公園の隣に南郷中学校がある。山の中に平の運動場がある学校です。全くの無名の公園なので地元の人が利用する程度である。

二子山は野鳥の撮影に行く森戸溪谷の山であり自然が残っている。三浦アルプスとも言う。



図3 低い山が連なる三浦アルプス

03)池子弹薬庫

およそ30年前まで逗子の市長選挙と言うと池子弹薬庫の土地を逗子市に変換する運動が盛り上がっていた。私には全く意味不明であった。1996年4月に住宅の一部落成記念式典があった。



図4 米軍の池子弹薬庫基地

私が惹かれたのは弾薬の単語です。ちょっとした山、森になっているから弾薬を保管するには丁度よい。ここから線路で横須賀の軍まで弾薬を運べる。今は縮小したと言ってもまだまだ大きい米軍基地と市民の憩いの公園になっている。

04)立石海岸

長者ヶ崎から三浦半島方向に自転車で15分のところに美しい海岸がある。赤色の砂岩の岩が波に侵食されて造形美を誇っている。江戸時代の風景絵師・安藤広重は「相州三浦秋屋の里」と題して富士山をくに見るこのあたりの風景を描いています。

05)熊野神社



図5 奇石がある大石海岸

三浦半島に6つの熊野神社がある。創建は建久年間（1190～1199）源義経の家臣、鈴木重家の長男・家長がこの地に古里紀州熊野権現を勧請したとも伝えられている。

写真はその中の1つで、海岸線に一番近い神社です。漁村にある小さい神社ですが、味わいがありました。道路からコンクリの階段を10mほど登るとちょっと高台から相模湾が見える。漁村の屋根越しに富士山が見える。日本はいたる所に神社やお稲荷



図6 海岸沿いの熊野神社

さんやお寺がある。そんな風景が外国人に受けている。

話は変わって、先日お稲荷さんについて調べたらインドのヒンズー教の神様ができました。女性の神様の「荼枳尼」ダーキニーが元で、日本では天女が稲穂を担いだ狐の乗って舞い降りる。稲荷の意味がやっとわかった。

06)佐島

佐島マリーナは有名であり、観光スポットになっている。小さな岬がある湾が漁港やヨットの係留地になっている。岬の先端に天神島があり、ハマユウの北限の自生地がある。

さらに吉野秀雄の文学碑がある。調べると、彼は群馬県高崎市生まれ、1902年（明治35年）～1967年（昭和42）とある。美術鑑賞や随筆を残し、書家としても知られていた。晩年に鎌倉に住み、瑞泉寺に埋葬とある。福島さんと知り合ってから明治から大正、昭和の文学者や歌人の石碑があつたら調べるようになった。気かけるとここ湘南（大磯から鎌倉）に沢山の記念碑があります。

07)自衛隊

横須賀の東京湾側は米軍と自衛隊の海軍基地があります。反対の相模湾側には陸上自衛隊の駐屯地があります。写真は陸上自衛隊の高等工科学校です。あと航空自衛隊の基地や大きなレーダーもありますが、これらはネット上では見つかりません。

●陸上自衛隊高等工科学校

防衛大臣直轄の教育機関。中学校を卒業した10代の男子を対象に、将来、陸曹となるべき者の養成を目的とする。高等学校ではないが3年制で、通信制高等学校と連携しており高等学校卒業資格の取得が可能。「自衛隊版の高校」と称される。

08)三浦大根

三浦大根が有名です。一面、大根畑がありますが、昔ほど作付面積は多くありません。野菜も多様化しているので大根を多量に消費するスタイルは少なくなりました。それでも土地と気候が大根の生育に適しているから冬季の関東に出回る7割が三浦大根の数字がありました。



図7 一面の三浦大根畑

09)三浦港

三浦のマグロは有名です。遠洋漁業の基地になっているし、首都圏に近いからマグロの町として売出し、水揚げと観光資源としてメジャーです。写真は城ヶ島大橋からの漁港です。丁度遠洋漁業の船が到着しました。



図8 三浦三崎漁港へ入る遠洋漁船

我が郷里の清水港もマグロの水揚げはとても多く、港には冷凍倉庫や缶詰工場が沢山あります。はごろもフーズは1931年後藤缶詰所として創業し、清水港に工場を持ちます。最大のヒットが「シーチキン」です。名前がユニークです。たしかに海の鶏肉のようです。1969年にはごろも缶詰株式会社になりました。その他に東洋製罐と大和製罐の製缶工場もあります。

当社の食缶内面と外面塗料のお客さんでもあるので、食缶塗料部の人清水詣でしていました。

10)県立城ヶ島公園

城ヶ島大橋を渡って城ヶ島に入ります。城ヶ島はけっこう大きく海側は公園になっています。最初に県立城ヶ島公園に入ります。とてもきれいに整備されている公園であり、海岸の砂岩の縞模様と緑の松や草のコントラストがとても良い。晴れていれば東京湾を行き来する様々な船を楽しめる。ときに自衛隊の潜水艦も航行している。1月には早くも水仙が咲き誇る。

11) 剣崎灯台

城ヶ島の城ヶ島灯台と対をなすのが剣崎の灯台です。剣崎は交通の便が悪く観光地でもないのて畑の中の道を進むしかない。車で来ることはできそうもない。剣崎灯台の歴史はかなり古く1866年江戸幕府の時代からある。



図9 剣崎灯台とレーダー

その隣には無線方位信号所のレーダーが建っている。これは電波灯台と呼ばれるもので特定の無線電波を発信して付近の船舶に方位や位置を知らせている。現代なら電波灯台の方が価値があるのだろう。

脇の細い凸凹のアスファルトの道を下に行くと海岸線に出れる。砂岩の岩の間に多少砂地があるのでここから目線に水平に東京湾を行き交う船を見ることができる。高台から見るとは違った臨場感がある。

● 剣崎灯台

1866年、アメリカ、イギリス、フランス、オランダの4ヶ国と結んだ「改税条約」（江戸条約）によって江戸幕府が建設を約束した8ヶ所の灯台（条約灯台）の一つ。

12) 戦艦三笠記念公園

2023年3月に岸田総理がウクライナを電撃訪問した。お土産に日露戦争由来の「必勝しゃもじ」を贈った。その意味を知っている人は少なく、新聞記事に説明があった。敵を召し取るしゃもじだそう。

日露戦争（1904年）でパルチック艦隊を撃破した日本帝国海軍の旗艦が三笠であった。その三笠が記念館として横須賀の海岸公園にある。横須賀駅からメイン道路を通ると途中に米軍の横須賀海軍基地があり、多数の外人や見慣れないナンバープレートの車が走っている。海上自衛隊もあるから、ここは首都圏を守る基地の街、横須賀だ。

横須賀市は山の街で、チベットとも呼ばれています。高い山はありませんが、起伏がある丘陵地帯を宅地造成した場所です。人口は多く40.6万人いる。横浜市や川崎市は別格として、3位が相模原市の72万人、4位が藤沢市42.4万人、4位が横須賀市が40.6万人となっている。海岸と丘陵との間の狭い土地に人口が集中するので高層マン

ションがあり、大型商業施設も海岸沿いにある。



図10 戦艦三笠公園にて

13)ペリー来航公園

小中学校の教科書の中身は全く記憶に無いが、ペリーの写真は覚えている。そして黒船が来たと言え、現在でも外国からすごい技術、会社が来たことを表す。この公園見上げるほどの記念碑が建っている「北米合衆国水師提督伯理上陸記念碑」とある。あいにく記念館は休館日だったので見学できなかった。目の前がすぐに東京湾フェリーの久里浜埠頭がある。対岸の千葉県の金谷まで40分で行ける。

●黒船来航（くろふねらいこう）は、嘉永6年（1853年）に代将マシュー・ペリーが率いるアメリカ合衆国海軍東インド艦隊の蒸気船2隻を含む艦船4隻が日本に来航した事件。

14)番外-潜水艦



図11 上：ペリー来航公園と潜水艦

観音崎付近の横須賀美術館の庭でぼんやり東京湾を眺めていたら海上自衛隊の黒い潜水艦が浮上して航海していた。動いている潜水艦を見るのは初めてである。感激して写真を撮ったがiphoneでは望遠が無いのが残念であった。

15)番外-防衛大学校

横須賀に防衛大学校がある。42歳頃、CGの勉強のために大学校の岡嶋研究室に通っていた。色々な研究の紹介が廊下にあるポスターで見た。砲弾の軌道計算等の防衛技術に関するものがあつた。一般の大学ではみることができない研究が多くあつた。

まだまだ名所がありますが、今日はここまでです。 おわり

